

上田西 初のセンバツへ

星 稜	0	0	1	1	0	2	0	0	0	4
上田西	0	0	0	1	0	3	0	1	×	5

千西一遇

号外

号外(第70号)
 発行
 2020年
 10月17日(土)
 上田西高校
 新聞委員会
 編集局
 編集局長:堀内日菜子
 新聞委員長:橋爪ここ菜



6回裏、試合を振り出しに戻す左越え3点本塁打を放つ飛鳥井 撮影=櫻林生成

北信越大会連覇中の星稜に逆転勝利

春の甲子園出場へ大前進

飛鳥井2本塁打 エース山口完投

10月17日(土) 第143回北信越地区高等学校野球大会準決勝が富山県の富山市民球場で行われた。上田西は秋の北信越大会2連覇中の石川県代表星稜高校と対戦。見事5対4で下して初の選抜高等学校野球大会出場に向けて大きく前進した。

3回裏に先制を許した上田西は4回裏、1死から5番飛鳥井(進学2年)が神奈川・鶴巻がソロ本塁打を放つ。2点を追加された直後の6回裏には、1死2、3塁から5番飛鳥井がこの日2本目となる3点本塁打を打ち同点に追いついた。8回表には、2死2塁のピンチで中前打を許すが、これをセンター・笹原操希(進学2年)が本塁への好送球で捕殺しピンチを凌いだ。

8回裏、上田西は1死満塁のチャンスを作ると、8番小川隼弥(進学1年)が左前へ運び、5対4と勝ち越しそのまま逃げ切った。エース山口謙作(進学3年)は神奈川・泉はピンチを作るも9回を1人で投げきるなど粘り強いピッチングを見せ150球完投。

選考委員会は1月に開催

2021年春のセンバツ高校野球は、3月19日(金)に開幕予定。出場校が決まる選考委員会は1月29日(金)、組み合わせ抽選会は3月12日(金)。観客の有無については、今後の新型コロナウイルスの感染状況や政府方針などを踏まえ検討されるようだ。出場校数(出場枠)は例年通りで北信越の出場枠は2枠。(櫻林 生成)